[行事コード 592504]

# 2024 年制定 複合構造標準示方書

# 講習会開催のお知らせ

## ～構造物のライフサイクルを扱う先進的な示方書の発刊～

複合構造委員会では, 2009 年に初めて複合構造標準示方書を制定し, 2014 年には, [原則編], [設計編], [施工編], [維持管理編] の 4 編で構成される複合構造標準示方書を制定しました. 新たな社会基盤施設を広く整備する時代から既存の施設を安全かつ効率的に維持し続ける時代に移り，新設構造物の設計・施工からライフサイクルを通した構造物の性能確保へと示方書の役割も変化しています.

そこで，複合構造標準示方書小委員会において，構造物のライフサイクルを総合的かつ合理的に扱うことが可能な新たな示方書の制定を目指し, 10 年にわたって徹底的な議論と執筆作業を行ってきました．その結果，2024 年制定版の複合構造標準示方書では，構造物のライフサイクルを通した性能確保の方法を規定した［構造物編］，構造物の時間軸上の設計，施工，維持管理に係る標準的な方法を規定した［調査標準］，［構造設計標準］，［性能評価標準］，［施工標準］，［記録標準］から成る標準編，具体的な技術仕様や資料をとりまとめた［作用編］，［材料編］，［調査方法編］，［評価方法編］，［部材・部位編］から成る資料編の枠組みで示すこととしました．これにより，［構造物編］で計画段階から，建設段階，維持段階，供用終了段階までの構造物のライフサイクルを扱い，時間軸上の様々な時点で標準編ならびに資料編の規定や技術を適用して構造物の性能確保に取り組むことが可能となります.

このたび, 2024 年制定版の複合構造標準示方書の講習会を下記のとおり開催いたしますので, ご参加くださいますようご案内申し上げます.

**主　　催**

土木学会（複合構造委員会）

**日　　時**

2025 年 8 月 4 日（月）　9 : 30～17 : 00

**場所および定員**

・土木学会講堂（〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内） ‥‥　60 名
・WEB（ZOOM ライブ配信） ……　200 名

**参 加 費**

・会員 30,000 円　学生 25,000 円　非会員 35,000 円　（テキスト※代込み）

※テキスト：**複合構造標準示方書（2024 年制定）3 冊セット**

**本示方書では，3 冊セットを購入していただくと電子書籍もご覧いただけます.**

対面，オンラインともに，行事開催日 3 日前までにご指定の住所へ送付します.

会場での配布は致しませんのでご注意下さい.

**申込方法**

・下記よりお申し込みください.

【土木学会】https://www.jsce.or.jp/events/form/5925041

【オンライン】https://www.jsce.or.jp/events/form/592504

・対面（土木学会講堂）参加の方は，申込時に送付される参加券メールを当日ご持参ください.

・オンライン参加の方には，ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前までにメールによりオンライン視聴方法をご連絡させていただきます.

・ご不明な点がございましたら，下記までお問合せください.

**申込締切日（申込先着順）**

**2025 年 7 月 21 日（月）17 時迄**

・お申込み後のキャンセル，参加区分（対面／オンライン）の変更，および締切日以降の受付および当日受付はいたしません．参加区分の間違いにご注意ください.

・申込完了後参加券メールが送信されますので，当日対面参加の方は印刷もしくはメールを提示して下さい.

・お申込方法でご不明点があれば必ず申込前に下記の問い合わせ先にご連絡ください.

**問い合わせ先**

土木学会 研究事業課 複合構造委員会　担当：岡崎寛輝（E-mail：okazaki@jsce.or.jp）

本講習会に関する詳細は，複合構造委員会のホームページ

（http://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/index.htm）をご覧下さい.

**スケジュール（予定）**

| | | |
|---|---|---|
| 9:30～ 9:40 | 開会挨拶 | 複合構造委員会副委員長 |
| 9:40～10:10 | 全体概要 | 斉藤成彦（山梨大学） |
| 10:10～10:30 | 構造物編 | 斉藤成彦（山梨大学） |
| 10:30～11:00 | 標準編［調査標準］<br>標準編［記録標準］<br>資料編［調査方法編］ | 岩波光保（東京科学大学） |
| 11:00～11:20 | 標準編［構造設計標準］ | 池田　学（(公財) 鉄道総合技術研究所） |
| 11:20～11:40 | 標準編［性能評価標準］ | 牧　剛史（埼玉大学） |
| 11:40～12:00 | 標準編［施工標準］ | 玉井真一<br>（㈱）鉄道建設・運輸施設整備支援機構） |
| 12:00～13:00 | （昼食休憩） | |
| 13:00～13:20 | 資料編［作用編］［材料編］ | 櫻庭浩樹（(国研）土木研究所） |
| 13:20～14:20 | 資料編［評価方法編］<br>Ⅰ　有限要素解析による性能評価<br>Ⅱ　線材モデルによる性能評価<br>Ⅲ　外観変状に基づくグレーディング評価<br>Ⅳ　変状原因の推定・変状予測 | <br>高橋良輔（北海学園大学）<br>渡辺　健（(公財) 鉄道総合技術研究所）<br>西田寿生（京橋ブリッジ（株）） |
| 14:20～15:00 | 資料編［部材・部位編］<br>Ⅰ　合成部材・FRP 部材(1) | <br>谷口　望（日本大学）<br>渡辺　健（(公財) 鉄道総合技術研究所） |
| 15:00～15:10 | （休憩） | |
| 15:10～15:30 | Ⅰ　合成部材・FRP 部材(2) | 中村一史（東京都立大学） |

| | | |
|---|---|---|
| 15:30～15:50 | Ⅱ　異種部材接合部 | 山田正人<br>（JR 東日本コンサルタンツ（株）） |
| 15:50～16:30 | Ⅲ　補修・補強 | 塩畑英俊（東日本高速道路（株））<br>西崎　到（(一財）土木研究センター） |
| 16:30～16:50 | Ⅳ　ずれ止め<br>Ⅴ　防水工 | 平　陽兵（鹿島建設（株）） |
| 16:50～17:00 | 閉会挨拶 | 複合構造委員会委員長 |

CPD ポイントについて

本セミナーは土木学会継続教育 CPD プログラムに認定されています（6.0 単位）.

【対面（土木学会講堂）参加の方】

・CPD 受講証明書をご希望の方は必要事項を予め記入した申請書を受付にご持参下さい．受講印を押印いたします.

・申請書類は https://www.cpd-ccesa.org/unit_assent.php からダウンロードして下さい.

・現地での受講証明書配布はございません.

【オンライン参加の方】

・CPD 受講証明は，事前の参加申込者のうち，アンケート（100 文字以上の簡易レポート）を提出していただき，受講していたことが確認できた方に発行いたします. セミナー終了後，下記 URL よりアンケートにご回答ください.

https://forms.gle/skKeg4SNbUfJ1pRGA

・アンケートの回答期限は，**8 月 10 日（日）17：00 迄**になります．回答期日を過ぎますと受付いたしませんので，ご注意願います．内容を確認し，回答期限から 2 週間前後でメールにてお送りいたします．多少お時間を頂く場合もございますのでご了承ください.

・参加申込頂いた方の代理で参加される場合は，事前に上記の問い合わせ先までご連絡ください．ご連絡いただいた方のみ受講証明書の発行を予定しております.

・土木学会 CPD システムをご利用の方は，参加者ご自身による CPD システムへの「自己登録」をお願いいたします.

・建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システムをご利用の方は，各団体のルールに沿って，CPD 単位の申請をお願いいたします．申請の提出方法等は提出先団体に事前にご確認ください．土木学会で証明する単位が，各団体のルールにより認められないことがあります．土木学会では他団体の運営する CPD 制度に関しては回答いたしかねます.

・回答後コピーをご登録のメールアドレスに送信いたします．届いていない場合は，回答の受付が出来ていない可能性もありますのでご注意ください.